

Fan

ファン

Vol.8

2026.January

久工大だより



Focus
特集1

就活座談会

内定を獲得した学生たちが、
就活のリアルを語る！

機械システム工学科4年 兵動 菜さん 交通機械工学科4年 馬渡 英利さん 建築・設備工学科4年 須山 理心さん
情報ネットワーク工学科4年 武末 尚大さん 教育創造工学科4年 松本 誓男さん 大学院/エネルギーシステム工学専攻2年 小坪 純大さん
大学院/電子情報システム工学専攻2年 山口 匠さん 大学院/モビリティシステム工学専攻2年 納富 奎吾さん

Focus
特集2

就活スケジュール

「内定を決めるまでの4年間の道のり」

—— 建学の精神 ——

人間味豊かな産業人の育成

—— 教育の基本理念 ——

知を磨き、情を育み、意を鍛える



I N D E X

目次	01
新年のご挨拶	02
久留米工業大学 学長 日野 伸一	

<i>Focus</i> フォーカス 特集1	03
---------------------------------------	----

就職内定者座談会

内定を獲得した学生たちが、就活のリアルを語る！

機械システム工学科4年	兵動 栞さん
交通機械工学科4年	馬渡 英利さん
建築・設備工学科4年	須山 理心さん
情報ネットワーク工学科4年	武末 尚大さん
教育創造工学科4年	松本 哲男さん
大学院 / エネルギーシステム工学専攻2年	小坪 純大さん
大学院 / 電子情報システム工学専攻2年	山口 匠さん
大学院 / モビリティシステム工学専攻2年	納富 奎吾さん

<i>Focus</i> フォーカス 特集2	05
---------------------------------------	----

就活スケジュール ～内定を決めるまでの4年間の道のり～

第48回 愁華祭	07
----------	----

Campus NEWS クラブ・サークル活動リポート	09
----------------------------	----

学生フォーミュラチームが「日本大会2025」で健闘

新任職員紹介 学術交流協定式 3大学連携協定を締結 令和7年度保護者懇談会	11
---------------------------------------	----

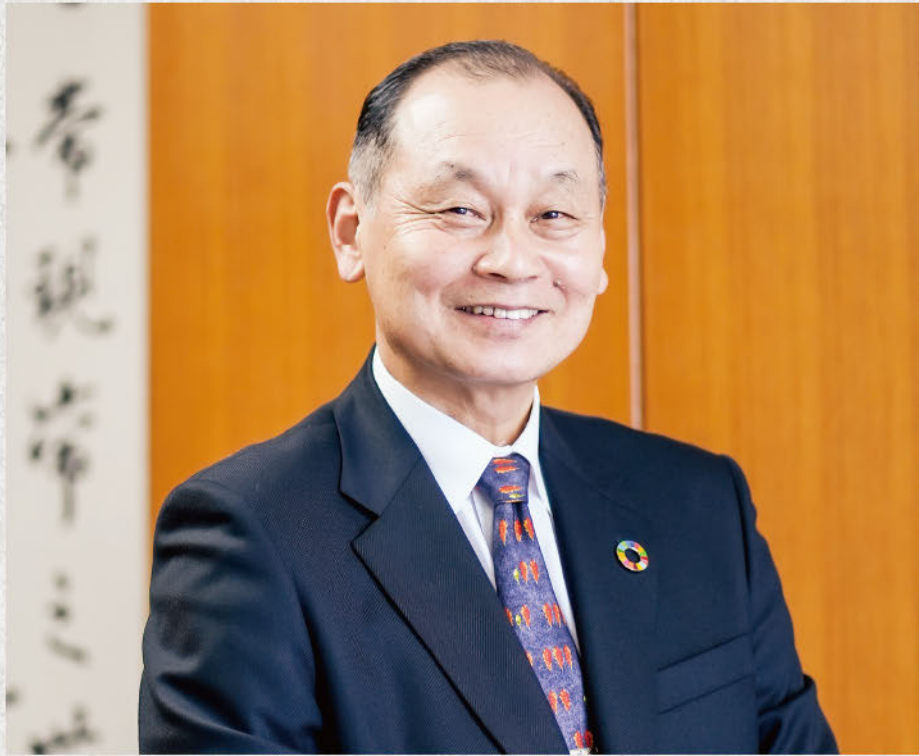
現役合格先輩の実践報告 女子学生オリエンテーション

奨学金	13
-----	----

日本学生支援機構

大学院紹介	14
-------	----

KIT-PORTAL案内	15
--------------	----



学長あいさつ

皆様におかれましては、お健やかに新しい年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。また、平素より本学の教育・研究活動に深いご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、国内外ともに社会情勢の急速な変化が一層加速する中で、本学も新たな教育の形を模索し続けてまいりました。学生一人ひとりが主体的に学び、挑戦し、社会に貢献できる力を育むことが、私たちの最大の使命であると考えております。5月には、学生たちの新たな学びと交流の拠点となる新棟、200号館(L-BASE)と交流棟(COM-RIDGE)が完成し、本学の教育研究環境がより一層充実しました。保護者の皆様には、学生たちの歩みをあたたかく見守り、支えていただいていることに心より感謝申し上げます。

本年は、開学60周年にあたる記念すべき一年になります。教職員一同、心新たに、高等教育機関としての「学びの質の向上」と「学生支援の充実」を柱に、学生一人ひとりの成長を後押ししていけるように、教育環境のさらなる改善と研究活動の発展に取り組んでまいります。保護者の皆様のより一層の温かいご理解、ご支援のほど、お願い申し上げます。

結びに、皆様の益々のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

学長 日野 伸一





内定を獲得した学生たちが、 就活のリアルを語る！

就活の第一歩であるインターンシップや会社説明会に実際に参加し、
内定を獲得した学生たちは何を感じ、どう行動したのか。
今年も内定の喜びに学内が沸く中、
学生たちのリアルな声を「就活座談会」と銘打ってお届けします。



私の背中を押してくれたもの

インターンシップや会社説明会に参加した感想や、就職先を決めた理由などを教えてください。

馬渡 幼い頃から興味があった自動車関係に携わるという希望があり、その可能性を広げるためにインターンシップに参加しました。

武末 最初は軽い気持ちで、たまたま自分の興味のあるソフトウェア・ハードウェアのインターンシップを行っていたので参加。帰る瞬間まで思いやりのある対応をしていただいたのが印象的でした。

納富 インターンシップで知り合った他大学生やメーカーの方の成果物を目にして、大変良い刺激を受けました。カーデザインに携わる仕事をしたいと最初から伝えており、それならスケッチから3Dデータを作成するCADモデラーでは？というご提案をいただき、就職を決めました。

小坪 プラントや産業機械などの大規模な製造物の設計をしたいと考え大学院に進んだので、その業界のインターンシップに参加しました。おかげでエントリーシートの提出や面接の際に志望理由の根拠になり、エピソードの内容にも説得力が生まれました。

須山 実家が建設会社を経営しており、建築関係の中でもインテリア業界に興味がありました。内定先ではダイニングテーブルのディスプレイを自分でする体験型インターンシップがあり、会社の雰囲気や仕事内容を知ること、面接で自分の想いを伝えられたと思います。

兵動 インターンシップに参加し、原子力関係の設計では、地震はもちろん、飛行機が墜落した場合などのリスク対応が幅広く、衝撃でした。この会社で好きな設計を活かせる未来を想像することができたので決断しました。

松本 中学時代、剣道部の顧問の先生から技術面だけではなく、“人と

してどうあるべきか”ということを教えていただき、教職に魅力を感じて志望。教育実習では授業スキルを大きく学び得ることができました。

山口 インターンシップで「課題を発見し、ITでどう解決するか」という考え方が身につきました。また、DXに携わる内定先の会社では、現場との距離が近く、風通しの良い雰囲気に惹かれ、人の協力で成り立っていると感じました。



毎日の積み重ねが、就活の力になる

大学の就職支援制度で活用したものについて教えてください。

須山 ビジネスマナーや面接対策など就活のサポート講座を沢山受講。特にメイク講座は自分でメイクしながら“やわらかい印象”に仕上げるコツなどが役立ちました。

納富 学内推薦をいただきました。必ず就職したいと思う企業がある、または、業界そのものに関心があり、部署の配置なども担保されているなら活用すべきだと思います。ただし学内推薦の場合、内定を取り消すことは基本的に不可能なので注意が必要です。

山口 エントリーシートの添削と模擬面接を活用しました。自分では気づけなかった表現の硬さや伝わりにくい部分を指摘していただき、話し方や文章の構成が大きく改善されました。

兵動 就職活動はわからないことだらけでしたが、企業とのメールのやり取りの方法などを詳しく教えていただき、手厚いサポートに感謝しています。

学生時代好きなことをいっぱい
楽しんでください。
また就活は早めに動き出すのが
ベストですよ。

現在目標がない人や
迷っている人も、
まずは行動してみると答えが
見つかりやすいです。

インテリア関係の場合は
就職先が限られており、
就活支援を活用しながら
積極的に行動を！

合同説明会で話を聴くことで、
やりたいことが
見えてくる場合があるので
ぜひ参加を。





在学中、特に力を入れたことで就活に役立ったことがありますか。

松本 教職志望なので、目標を持って塾講師のアルバイトに取り組みました。生徒との関わり方、学力の実態や学校での様子を知り、それをもとに面接に臨むことができて良かったです。

武末 朝から夕方まで続けて受講するなど自分の興味がある講義はすべて取るようにしました。おかげでソフトウェア・ハードウェア両方の職種でエントリーできたと思います。

小坪 在学中は、人の役に立つモノづくりの研究活動に力を注ぎました。この経験があるからこそ、モノづくりの基礎の理解や、チームでの協働を通じて培ったコミュニケーション能力のアピールにつながったと思います。

馬渡 ゴルフ用品店のアルバイトをする中で、目上の方に対する敬語や言葉づかいが身につく、面接やインターンシップの際に役に立ちました。

須山 ダンスサークル活動で約一年間部長を務めました。一人ひとりの考えや意見を聞きながらまとめることで、協調性や責任感の大切さを感じることができました。



納得できるなら初志貫徹も方向転換もあり

最後に就活で大切にしたことや、後輩へのアドバイスをお願いします。

山口 「技術だけでなく、人との関わりを大切にしたい」という教授の言葉を実感できました。最初から「完璧な志望動機」を考える必要はなく、社

員の方と話す中で、自分らしい価値観が見えてきます。

小坪 研究室の教授からは、様々な業界を見て経験を積むように

言われました。説明会を含めると15社以上をまわり、その結果悔いなく就活を終えることができたと思います。

兵動 就活の重要性を再認識し、緊張しがちな私でも自分のことを徐々に表現できるようになりました。

松本 就職活動は、目的や目標を明確にすることで多くのことに気づき、学ぶことができます。私は教壇に立ったら、わかりやすい授業を心がけ、生徒一人ひとりに寄り添える教師になりたいです。

武末 合同説明会などは、まずは参加する!という勢いが大事。回ったブースの数によってポイントがもらえる場合もあり、最初はポイント目当てでもいいので、行動を起こすことが大事です。

馬渡 やりたい仕事に的を絞るのもいいけれども、最初は幅広く取り組むのがおすすめです。自分の場合、インターンシップ参加前は行きたい業界という意識しかなかったのに、参加後はやりたい職種を絞るという方向に変化していきました。

納富 目指すものを持っている方は、自分を信じて貫いてくださいと言いたいです。今までの努力や熱量は、黙っていても必ず相手に伝わります。その熱量を絶やさず財産を積み重ねていってください。



教員採用試験対策として、
教員の先輩や
友人に対して模擬授業をすると
力がつきます。

周りの教授に
相談するのもいい!
私は船舶のエンジン設計の
面白さに目覚めました。

面接をはじめ
場数を踏むことが大事!
自分のことをうまく
伝えられるようになるので。

好きなことがあるなら、
諦めないでください。
趣味を仕事にするというのも
選択肢の一つです。



教育創造工学科4年
まつもと ちかお
松本 誓男さん
福岡県教育委員会 中学/理科教員内定



大学院/エネルギーシステム工学専攻2年
こつば じゅんた
小坪 純大さん
株式会社三井E&S内定



大学院/電子情報システム工学専攻2年
やまぐち たくみ
山口 匠さん
テクセンドフォトマスク株式会社内定



大学院/モビリティシステム工学専攻2年
のりとみ けいご
納富 奎吾さん
株式会社フィアロコーポレーション内定



就活スケジュール ～内定を決めるまでの4年間の道のり～

工学部2年生			工学部3年生、大学院1年生								
4月	8月	10月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
			【自己分析】 これまでの経験を通じ自分の志向や興味を掘り下げ、自身について深く考えましょう。								
			【自己PRの準備】 志望企業の内定を勝ち取るためには、書類や面接で自分の魅力を最大限に伝えよう。								
			【マナーの習得】 社会人とのコミュニケーションには、まず、第一印象が大切です。								
			【業界・企業・職種研究】 最初はあまり業界や企業を絞り込みすぎずに情報収集し、自分の興味・キャリアプランを考えながら絞り込んで行きましょう。								
工学部1年生			【オープンカンパニー・インターンシップ(就業体験)】 インターンシップは企業や仕事の実際を知る絶好の機会ですので、積極的に参加しよう。								
4月	8月	10月	学内外の企業説明会・就職セミナー等による情報収集								
フレッシュマンセミナー 1年生必修科目 大学生生活や社会生活についてのオリエンテーションと専門科目への動機付け教育、更に将来の進路選択の方法について学びます。			就職支援セミナー								
就業力育成セミナー 2年生必修科目 ●学年への就業支援として2年次から学科別必修科目でキャリア教育を実施します。			課外就活セミナー								
			就業力実践演習 3年生必修科目								
選考から内定までの流れ			①企業説明会・セミナーへ参加 各企業が開催する説明会(合同・単独)に参加して、企業の情報を収集する。								
			②インターンシップへ参加 興味を持った企業で就業体験を行い、企業について研究する。								

社会人1年目の先輩が語ります。
～ 大学生生活の今が、未来をつくる～

やまぐち たかひろ
山口 孝裕さん
卒業学科:交通機械工学科
卒業年度:2024年度
入社:2025年4月
出身高校:大分国際情報高等学校
勤務先:
東光電気工事株式会社 電力インフラ事業部
交通工事部 工事第一課



就職活動を意識し始めたタイミングや、きっかけとなった出来事があれば教えてください。

大学3年生後期に、藤原先生のキャリア概論の講義を受けて就職活動のイメージが沸きました。

キャリア概論の講義を受けるまでは、エントリーシートや面接で、どのように自分をアピールすれば良いか分かりませんでしたが、丁寧に指導していただいたり、講義以外でもエントリーシートや面接について個別指導していただきました。

大学での「学び」が、今の仕事にどう活かされていますか？

電気工事に関する業務で、電気工学の講義で学んだ知識やCADの講義で学んだ技術が活かされています。

工作実習など、ものづくりに関する講義も多かったため、その経験を活かして現場でスムーズに作業できています。

現在の仕事内容を簡単に教えてください。

東海道新幹線の電車線設備に関する工事の施工管理を行っています。線路の上に張られているトロリ線や、変電所からトロリ線に

電気を送る「き電線」など、電車を動かすための電気を送る設備の新設や修繕、改良工事を行っています。

社会人になってから感じた「大学時代にやっておいてよかったこと」「やっておいた方がよかったこと」は何ですか？

私は大学在学中に学外にて、高校・大学・社会人野球の審判員として活動していました。その活動の中で、粘り強く丁寧に説明する力を身につけました。現場でも先輩や上司との情報の共有や、作業員の方へのようにして作業を行うかを説明するなど、コミュニケーションが必要な場面がたくさんあります。私は審判員の活動の中で、たくさんコミュニケーションを取る経験ができたので、その経験を活かして業務を円滑に、そして正確に進めることができています。

今後、どんなふうにキャリアを築いていきたいと考えていますか？

電車線設備工事で必要な資格をたくさん取得し、工事指揮者となることです。「山口の言うことなら間違いない」と言われ、誰からも信頼される現場のリーダーになりたいです。

在学生に伝えたいこと、アドバイスはありますか？

先輩の皆さんには、サークルやアルバイトなどで多くの人と関わり、たくさんコミュニケーションを取って欲しいと思います。どんな仕事でも様々な人との関わりはたくさんあると思います。学生のうちにたくさんコミュニケーションを取る経験をする事で、会社に入ってから先輩や上司への報告・連絡・相談、取引先との連絡も円滑に行うことができ、周りから信頼されるようになります。



大学4年生の頃

(高校野球の審判をしている際の試合前の写真)





第48回 愁華祭レポート SHUKASAI REPORT

～非日常の場所で新しい体験や発見に出会う～
コンセプト: **Adventure アドベンチャー**

Enjoy Time

令和7年10月11日から2日間、
本学の伝統ある一大イベント「愁華祭」が開催されました。
新棟を活かした会場アランから、新しいイベントの企画、スケジュールや予算管理まで、
学生主体の“学祭”は、今回のコンセプトのようにアドベンチャーの連続!!
その熱気が当日の盛り上がりにつながり、特別な2日間になりました。



誰もが冒険の主人公へ!

[Adventure]というコンセプトには、来場者の皆さんが愁華祭という特別な場所で、日ごろできないような体験や発見に出会い、ワクワク感やドキドキ感を味わってほしいという願いが込められています。愁華祭という「冒険の舞台」で、誰もが主人公になり、かけがえのない思い出を作っていただけることを目指して開催しました。

今年は、新たに完成した“らせん状通路”の大変ユニークなデザインの交流棟(愛称 COM-RIDGE:コムリッジ)なども会場のひとつとして加わりました。その新棟を活かしながら、来場者の方も含めみんなが集い楽しんでいただける会場づくりができ、ご好評をいただきました。

熱いエールに支えられて

実行委員会のメンバーは、4年生中心ではなく3年生が多く1年生が少ないという状況で、できることに限りがある反面、同年代が多く意見を言いやすい雰囲気にも助けられました。右も左もわからない中、卒業されたOBの方に直接電話で質問するなど色んな人の力を借りてやり遂げられたと思います。

SNSを利用して告知をしたり、予算を抑えながらも動員力のあるアーティストさんにお越しいたり、サークルの方に企画をお願いしたりと動き回っているうちに、運営のポイントも掴めてきました。協賛いただいた企業さまも多く、支えられ協力し合ったからこそ最後に満足感や達成感を味わえたと思います。準備段階で台風が近づくというハプニングがあり、時折ミスに落ち込むこともありましたが、それもいい思い出と言えるのが幸せです。

ワクワク最高潮のイベントとは

コンセプトにぴったりの宝探しゲームでは、景品入りのお菓子の掴み取りが大人気で、慌ててお菓子を買いに走るなど嬉しいハプニングも。また、ステージ企画では「女子も男子も可愛く」というテーマで男子が女装すると、面白さより女子顔負けのクオリティで会場がどよめきました。毎年恒例の「ビンゴ大会」は、「ニンテンドースイッチ2」が景品の一つになったおかげか、驚くほどの盛り上がりで大成功!

愁華祭が終わるとSNS上のコメントなどで「楽しかった」などお客さまの感想が聞けたりすると感動もひとしおです。就活や学業もある中での両立は大変でしたが、やり切った達成感は格別です。



第48回 愁華祭実行委員会

来年度の愁華祭に向けたメッセージ

しぶや まさし
実行委員長 3年 渋谷 将志さん

大学でなければ経験できない、実行委員でなければ味わえないことがあります。

貴重な体験として来年は一緒に開催しませんか。

たかはら ゆうすけ
副実行委員長 2年 高原 佑輔さん

本学の一番大きなイベントなので、来てもらい楽しんでもらうことが一番!

協賛いただいた企業さまとのやり取りなど勉強になることも多かったです。

あおの かな
情報局 3年 青野 香菜さん

ハプニングに強くなる、なんとかなるという気持ちになれる経験でした。

楽しむ祭りではなく、“自分でつくりあげる人生最後のお祭り”として参加して欲しい!

なかわたせ しほ
企画運営局 3年 中渡瀬 志穂さん

一人で過ごす時間が多い大学生活。

“仲間と協力し合った、自分はこのに挑戦した”という思い出ができ、協調性を養うことができました。



実行委員長!!お疲れ様でした!



SUGO CAR



Wow!!

キッチンカー



模擬店のみなさん!



nico nico

MC岡部さん



重音学部

ダンスサークル



ピンゴ大会



吹奏楽団



女装コンテスト



ふわふわ遊具



模擬店のみなさん!



学生フォーミュラチームが「日本大会2025」で健闘

学生フォーミュラチームが、2025年9月8日から13日にかけて

愛知県国際展示場(Aichi Sky Expo)で開催された「学生フォーミュラ日本大会2025」に出場しました。

久留米工業大学は2007年以来、毎年予選を突破し同大会に出場しています。

今年は「軽量化」をテーマに掲げ、1年間かけて車両の製作に取り組みました。

大会では、出場したガソリンエンジン車クラスにおいて、途中まで軽快な走りを見せ健闘しましたが、

最終的には全58チーム中46位という結果となりました。

予期せぬトラブルが発生した際には、チーム全員が一丸となって対応し、その経験がチームとしての大きな成長につながりました。



学生フォーミュラは世界各地で開かれており、今年の日本大会には海外勢を含め90校が出場。

この「学生フォーミュラ日本大会」は「ただのカーレース」ではなく、走行のほか、将来の人材育成の観点から、車の設計・開発、コスト管理、プレゼンテーションなども含めて審査が行われます。

～大会前の様子～



パーツは自分達で作ったり、スポンサー企業様に依頼して作っていただきました



トヨタ自動車株式会社様が本学を含め、九州から参加する4大学の車両と荷物をすべて名古屋の会場まで搬送してくださいました

～大会中の様子～



ピット作業中

●大会の流れ

最初の2日間は車検および静的(書類)審査です。一般的な車検とは全く異なり、様々な動作確認のほか、緊急時にドライバーが制限時間内に脱出できるか、といった多岐にわたる審査をクリアして初めて、3日目以降に進めます。3日目以降は、走行性能や耐久性などを競う「動的審査」となります。



60度傾け、油漏れがないか確認。
上側タイヤが浮いたら失格



ドライバー5秒「脱出試験」



車がルールに合っているかの審査



コース上で待機中



九州支部全員の集合写真



会場では、大手自動車メーカーに就職したOBの方々が、大会担当者として働いていました。



エンデュランス走行

●学生からのコメント

今回の大会は、様々なトラブルに見舞われながらも、完走まで目の前の17周目でリタイヤとなってしまいました。しかし、限られた時間内で発生した問題に対してチーム内でどのように対応するか考えて迅速に行動へ移せたことが今回のチームの大きな成果であったと感じています。次回の大会までに改善、解決しなければならない課題も明確になりました。今回の課題を経験としてマシンの性能向上に挑戦していきます。今後も、応援の程よろしくお願いいたします。

●チームは世代交代し、次の1年に向けてスタートを切っています!



大会を振り返り、課題を洗い出す会議中

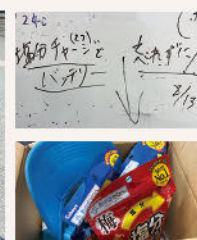


●交通機械工学科の学生を中心に 自動車好きが集まって活動

現在、約15名のメンバーのうち大半は交通機械工学科に所属する学生です。同学科では、自動車を中心に、モビリティ全般の性能や構造、デザインに関わる科目を通じて、自動車の設計開発や生産技術などについて学んでいます。



活動場所と試走会の様子。炎天下で頑張っています。



学生フォーミュラ
チーム公式サイト



Xの公式
アカウント



大会の動画や
舞台裏エピソードに
ついてはレポート
記事をご覧ください

新任職員紹介



総務課
くりや のりこ
栗谷 典子

10月に入職し総務課に配属となりました栗谷と申します。前職はブライダル業界で接客や総務事務の仕事に従事していました。そこで培った「人への気配り」を活

かし、みなさまから信頼される存在として貢献できるよう尽力いたします。

野球観戦やマラソン、食べ歩きが好きで休みの日に家にいることはほぼありません。同じような趣味の方がいらっしゃれば是非お声かけ下さい！



入試課 係長
がべ たけし
我部 健

10月より大学の入試課に配属されました我部健と申します。スポーツ用品メーカーにて営業職を約15年間勤めた後、専門学校に転職して高校訪問を中心とした学生募集の広報活動を約10年担当していました。高校生の進路相談にも応じていたため、これまでの経験を活かして1日でも早く入試課の戦力となるよう全力で業務に励みたいと思っております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

インドネシア・ハサヌディン大学工学部と学術交流協定及び学生交流協定を締結 5月30日

令和7年5月30日、インドネシアの国立ハサヌディン大学工学部と学術交流および学生交流協定の調印式を行いました。4名が来学され、本学のAI応用研究所や構造実験室も熱心に見学されるなど、今回の協定締結を機に、今後の連携強化が期待されます。



AI応用研究所



構造実験室

久留米工業大学・純真学園大学・九州大谷短期大学が包括的連携協定を締結 「心・技・医の三位一体教育」で次世代人材を育成、持続可能な大学経営を目指す 7月15日

令和7年7月15日、久留米工業大学、純真学園大学(福岡市)、九州大谷短期大学(筑後市)は、「包括的連携協力に関する協定」を締結しました。

それぞれの専門分野である「工学」「医療」「人間学」を融合し、「心・技・医の三位一体教育」モデルを構築。複合的専門性を備えた次世代人材の育成を目指すとともに、学校運営機能の共同化等によるスケールメリットを活かした新たな大学経営モデルの確立にも取り組みます。



令和7年度保護者懇談会を開催しました！ 9月13日～23日

本学では、保護者の皆様に大学の教育・学生支援の取組みをご理解いただくとともに、ご意見やご質問を直接伺う機会として「保護者懇談会」を開催しております。

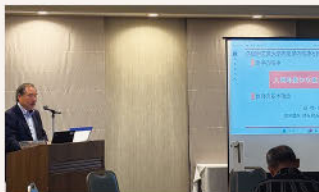
今年度は、これまでの個別面談形式から新しい試みとして、「大学概要説明」と教職員との交流を交えた「懇談会」を開催いたしました。また、懇談会の内容をより充実させるため、会場をこれまでの10か所から4か所に厳選し、遠方にお住まいの方には電話による個別面談も行いました。

各会場では、大学の近況や学生生活・就職支援の取組みを紹介し、参加された保護者の皆様から今後の教育活動に活かせるご意見やご質問をお寄せいただきました。

ご多用の中ご参加いただきました保護者の皆様に厚くお礼申し上げます。

今後も本学では、学生一人ひとりの学修・生活・就職支援の充実に向けて、教職員が一丸となって取り組んでまいります。

開催日	地区名	会 場	参加者数
9月13日(土)	鹿児島	ホテルマイステイズ鹿児島天文館	13名
9月14日(日)	熊本	ホテル熊本テルサ	25名
9月20日(土)	福岡	博多エクセルホテル東急	24名
9月23日(火・祝)	久留米	電話による面談(午前)	21名
		久留米工業大学(午後)	92名
合 計			175名



先輩から後輩へ、教員採用試験に現役合格した先輩の実践報告 10月29日



野寄さんへのインタビューも大学HPに
記載していますので是非ご覧ください。



令和7年10月29日に機械システム工学科4年の野寄海斗さんから、これから教員採用試験に臨む2、3年生の後輩へ実践報告をいたしました。

教員採用試験に向けての対策方法や、採用試験を受けて思ったことや感じたことを約1時間報告し、その後は座談会方式で後輩からの質問を受けました。

4月からは高校生の前に立ち、教員として教壇に立つことになります。



女子学生の成長を支える取り組み-女子学生オリエンテーション 12月3日

令和7年12月3日に女子学生を対象とした「女子学生オリエンテーション」を開催しました。

前半の講演では、インターナショナルエアアカデミー学院長・嶋田嘉志子氏をお招きし、5年後・10年後を見据えた将来像や社会に出てから役立つ姿勢やマナーについて、具体的な事例を交えてご講演いただきました。「姿勢やマナーが未来を変える」というメッセージに、学生たちはうなずきながらメモを取るなど、積極的に学ぶ姿が見られました。

後半の交流会では、食事を囲みながら学年を越えたコミュニケーションを深めました。リラックスした雰囲気の中で笑顔があふれ、開始前の緊張感が嘘のように、会場はすっかり“女子会”ムードになりました。

今回のオリエンテーションは、学生たちが「自分のこれから」を前向きに考えるきっかけとなり、「新しいことに挑戦したい」という声が多く聞かれました。

今後も本学では、学生一人ひとりが自信を育み、安心して大学生活を楽しめるよう、様々な機会を提供してまいります。



日本学生支援機構奨学金の説明

日本学生支援機構の奨学金には返還義務のある「貸与型」と、返還の必要がない「給付型」の2種類があります。

奨学金の申請手続きおよび必要書類の提出は、**すべて学生本人が行います**。また、募集に関する説明会も、**学生本人のみが参加対象となります**。奨学生の募集は春と秋の年に2回実施しています。申請を希望する学生は必ず説明会に参加してください。

保護者の皆さまには、制度の概要をご理解いただくとともに、学生が円滑に手続きを進められるよう、必要に応じてご家庭でのご支援をお願いいたします。

なお、奨学金に関する最新情報は大学のポータルサイトや掲示板等で随時お知らせしております。申請を希望する場合は、学生本人が必ずこれらの情報を確認し、期限内に手続きを行ってください。

※国の修学支援制度(多子世帯を含む)を希望する場合は「給付型奨学金」に申し込む必要があります。

奨学金申請までの流れ

①新規(在学)採用説明会に参加 説明会は春(4月)秋(9月)に開催

②スカラネットパーソナル下書き用紙を学生課でチェック (学生課の確認後、入力IDとパスワードを受けとる)

③スカラネットパーソナルより入力(マイナンバー情報含む)

④スカラネットパーソナルに入力後、1週間以内に必要書類を日本学生支援機構宛に郵送 春:5月末まで 秋:10月末まで

⑤採用可否の結果が学生課に届く

採用者:採用説明会の開催(参加必須)

不採用者:不採用通知を学生課で受け取り

大学が指定する期日までに必要書類提出
※提出しなければ採用取消の可能性もあります

次回申し込み(申し込み要件を確認ください)

奨学金申請条件(学業要件)

1年生

- (1)高校の評定平均値が3.5以上であること
- (2)入学者選抜試験の成績が入学者の上位1/2以上であること

2年生～4年生

- (1)学年毎のGPAによる学業成績数値順位が上位1/2以上であること
- (2)修得単位数及び学修計画書のいずれにも該当すること

①修得単位数が標準単位数以上であること

1年次:31単位、2年次:62単位、3年次:93単位以上

(ただし、3年次終了時点で久留米工業大学工学部履修規則に定める各学科の卒業研究着手要件をみたすこと)

②「学修計画書」の提出を求め、学修の意欲や目的、将来の人生設計等が確認できること

※詳細については学生課へお問い合わせください。



久留米工業大学 大学院

進学のスズメ



本学大学院では、より専門的・高度な知識と実践力を身につけ、社会で活躍できる高度専門職業人の育成を目指しています。

学部での学びを土台として、大学院では3つの専攻を設置し、先端技術や社会課題に対応した高度な研究教育を展開しており、学生は学科問わず希望する専攻に進学できます。

エネルギーシステム工学専攻

「サステナブルなエネルギーを創造する。メカニクスの機能美×アーキテクトの空間構成」
未来社会の持続可能なエネルギー利用法を機械×建築から展開する

電子情報システム工学専攻

「AI・センシング・VR/MR・ロボティクス……。多様な研究が未来を形作る」
これからの社会に必要な幅広い研究テーマが多様な社会の課題解決を実現する

モビリティシステム工学専攻

「陸、海、空、宇宙をつなぐモビリティで、未来社会をデザインする」
次世代の持続可能な社会を創造するモビリティ技術を追求める

特別奨学生について

特別奨学生制度とは、学業成績や学部在学中の業績等が特に優れていると認められる学生を、本学の基準に基づいて選考し、年間授業料の一部を給付する制度です。

久留米工業大学工学部を卒業して引き続き本学大学院への入学を希望する方で、大学院推薦入学試験に合格した方の中から、学科長が推薦し、かつ3年次前期終了時点の当該学科での成績(GPA評価)上位5%以内を第1種特別奨学生、上位15%以内を第2種特別奨学生として入学後に年間授業料の7割または3割の額を給付します。

また、工学部在籍中の研究等に関する優れた業績や大学院入試の結果等を基に選考した学生には、入学後に年間授業料の5割の額を給付します。(令和7年度入学者から開始)

なお、3年次に本学工学部に編入学し、卒業して引き続き本学大学院への入学を希望する場合は選考要件が異なりますので、学生課へお問い合わせください。

特別奨学生として選ばれた場合

3年次前期終了時点の当該学科での成績(GPA評価)

上位5%以内を第1種特別奨学生

上位15%以内を第2種特別奨学生

本学卒業生
入学料

0円

本学以外の卒業生
入学料

110,000円

	授業料	教育充実費	実験実習費	委託徴収費	計
通常	600,000円	100,000円	120,000円	26,750円	846,750円
第1種特別奨学生 (上位5%以内)	180,000円 (※年間420,000円給付)	100,000円	120,000円	26,750円	426,750円
第2種特別奨学生 (上位15%以内)	420,000円 (※年間180,000円給付)	100,000円	120,000円	26,750円	666,750円
業績による 特別奨学生	300,000円 (※年間300,000円給付)	100,000円	120,000円	26,750円	546,750円

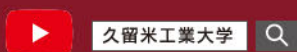
保護者の皆さまも ぜひご利用ください！

本学では、保護者の皆さまにも「KIT-Portal」をご利用いただくことで、学生の出席状況や成績をご確認いただけるようになっております。

このたび、「KIT-Portal」の基本的な操作方法について、分かりやすくまとめた動画を作成いたしました。システムの利用が初めての方でもご覧いただける内容となっております。

動画は、同封の資料に記載されているQRコードからご視聴いただけます。ぜひご確認ください。

出欠確認は「学生出欠状況確認」から行うことができます。



ストーリーの、真ん中に。